

8月11日

テーマ：ベテスダの池で

聖書箇所：ヨハネの福音書 5章1節～14節

◆今日のみことば

イエスは彼が伏せっているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」
ヨハネの福音書 5章6節

◆メッセージ

イエスさまは、38年間病気で苦しんでいる人に、「よくなりたいか」とお聞きになりました。そんなこと、聞かなくてもわかりそうなこと！治りたいに決まっていますね。でも、男の人は「よくなりたいです。」ではなくて、「池の中に私を入れてくれる人がいません。」と答えました。まるで自分の病気が治らないのを、他の人のせいに行っているようですね。ベテスダの池には、水が動くときに、一番最初に池に入った人が治るといふ言い伝えがありました。だから、ベテスダの池の周りにはたくさんの方々が待ち構えていて、争って池の中に飛び込みました。38年も寝たきりの人は、池に入るために、誰かに入れてもらわなければなりません。でも、よく考えて、池に入ることが一番の願い？治ることが一番の願いではないの？



この男の人の心の中にある本当の願いを知っているイエスさまは、命じました。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」ずいぶん細かい命令です。「え～、起きることなんて、一人では無理無理。」それとも、「治りたいから、イエスさまのおっしゃるとおりにしてみよう。」と思ったでしょうか。どっち？



すると、男の人は自分で立つことを選びました。命じられたとおりに立ち上がりました。立つことができたので、彼は更に御言葉に従って、床を取り上げました。歩き出しました。あ、治っています。小さなことから、従っていくうちに、神さまのみわざを体験することができました。

自分でいろいろ考えて、「あれしてください。」「こうしてください。」と言うお祈りをしていませんか。本当に願っていることを、素直に祈りましょう。イエスさまに「私は何をすべきなのですか？」と聞く事が大切です。そして、イエスさまの言われることに従いましょう。小さなことから、一つ一つです。

◆お祈り

「かみさま、今日私は何をすべきでしょうか？ 変わらないと思っている自分自身の罪を赦し従わせてください。」
(三島めぐみチャーチ牧師 下山田耕一)